

地域おこし協力隊 活動報告会

吉丸コミュニティセンターと、山方農村環境改善センターで地域おこし協力隊活動報告会が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、それぞれの主な活動地にある施設にて、参加者を地域の方のみとする形で実施されました。

隊員の報告



▲松原 功隊員（中央奥）

松原 功隊員

常陸大宮に来てから、4回目の春を迎えています。私は任期中、森林や狩猟に関する活動をぶれることなく行ってきました。応募した際、里山保全を目的とした間伐体験やイノシシの活用を自ら提案し、採用していただいたのが活動の始まりです。活動をする中で、思うようにいかないことや私の言葉不足で誤解されることもありましたが、それを忘れさせてくれるほど、地域の方々や職員の方々が私と真摯に向き合ってくださいました。最近では、私に興味を持つ方から、お声がけいただくこともあり、「もっと早く出会いたかった!」という想いと同時に、この出会いが切り開いていく新たな未来にワクワクする気持ちも芽生えています。

今後は、今までのように100%の時間を使って、森林や狩猟に関する活動をする事ができませんが、任期中の学び・経験・出会いを無駄にすることなく、できる範囲で小さな歩みを続けていきます。具体的には、住まいの一部を木工房にし、木材加工や木工体験を通して、人とのつながりが生まれる場所を小さく始めます。是非、遊びに来ていただきたいです。

多くの方に支えられた3年間。改めて感謝の気持ちを申し上げるとともに、これからはひとりの住人として、見守っていただけると幸いです。



▲徳永 涼隊員

徳永 涼隊員

着任当初は地域のハブとなる場づくりを目指し「空き家・空き店舗探し」をしておりました。市内には魅力的な建物が多く存在しておりますが、長年使われていなかったり、地震等の災害や経年劣化等により、すぐに活用できる建物は少ないということがわかり、別の活動に切り替えていきました。

次に、耕作放棄地を活用した自然農の実践に取り組みました。自然農には様々なスタイルがありますが、私は自家採種を中心に据え取り組んでおりました。タネや苗から育てた作物の果実から種子を取り出すことを繰り返していく持続可能な農法であり、SDGsの目標を達成することができるシステムであると考えています。しかしながら、自然農を農業として取り入れるには大きな課題があり、収穫物で生計を立てるのは困難です。

ただし、家庭菜園での実践には向いていると考えます。同じ品種でも小さい実や大きい実、甘さや辛さが違う等、採れる果実は様々です。それらの果実から自分好みの形や味のものを選別し、採種するというのも可能ですので、挑戦してみるのはいかがでしょうか（種苗法の規制は家庭菜園には適用されません）。

2年という短い間でしたが、お世話になりました。ありがとうございました。



▲古澤 宏明隊員

古澤 宏明隊員

前年度は任期1年目で見えてきた常陸大宮市の課題にフォーカスを絞って活動してきました。

市内の情報発信力を底上げする目的で始めた SNS 講座。市内高校生が常陸大宮市に思い出を作ってもらえるよう始めた「高校生プロデューサー（仮）」。また、茨城県の地域おこし協力隊有志で主催した「地域おこし協力隊 EXPO in いばらき」に関わるなど、横のつながりも意識して活動してきました。そんな活動の中で改めて感じたことや新たに発見したことを3つほど紹介したいと思います。

1つ目は「巻き込む力の重要性」です。「協力隊の活動は一人じゃ何もできない。」この言葉を深いレベルで理解した1年でした。

2つ目は「アイデアを口に出すと成功確率が上がる」です。言葉にすることで仲間が集まり、知恵も集まる。結果として成功確率が上がることを広域連携企画で身をもって感じました。

最後の3つ目は「行動すること」です。ある程度方向性を決め、裏取りもして、「よし、これでいける!」と思ったら実行する。最も大事な要素だと改めて思いました。

【協力隊新メンバー紹介】

常陸大宮市地域おこし協力隊として、新たに3名に委嘱状を交付しました。



○吉川 勝 隊員

水戸市出身の吉川です。常陸大宮の表情豊かな自然が好きで、自転車がよく走りに来ていました。サイクリングをはじめとした、豊かな自然を活用したアウトドアスポーツを促進し、活力ある地域づくりをしたいと思います。よろしくお願いたします。



○谷部 文香 隊員

常陸大宮市の豊かな自然に魅了され、東京からやってきました。地域について学びながら、観光施設やイベントの情報を文章や写真、動画などを通じて発信したいと思っています。温かい目で見守って頂けると幸いです。



○星野 由季菜 隊員

常陸大宮出身で大好きな地元に戻ってきました。これまで関わってきた西塩子の回り舞台等の祭りや、飲食店、自然など地域資源をつなぎ周囲も自分もわくわくするイベントなどを実施したいと思います。

